

2010年11月1日  
社団法人 日本銅センター

## 銅の殺菌力実証実験プロジェクト「子どもを守る安全・安心プロジェクト」 感染症対策として保育園設備に銅を設置

社団法人日本銅センター(専務理事:日高俊信、以下、日本銅センター)は、本年6月より銅の殺菌力を実証する実験プロジェクト「子どもを守る安全・安心プロジェクト」(後援:日本鉱業協会、一般社団法人日本伸銅協会、国際銅協会)を推進してまいりましたが、この度、本プロジェクトにご参加いただいた保育園に銅の設備を設置完了いたしました。

昨今、教育施設における食中毒やインフルエンザ等の集団感染症が問題となっており、子どもを安心して預けられる環境に対する保護者の願いはますます高まっています。特に病原菌への抵抗力が弱い小さな子どもたちが集まる保育園では、集団感染などが起こらないよう万全の予防対策が必要です。予防策としては、手洗いの徹底及び環境表面(手が触れるドアノブなどの表面)の消毒であることは言うまでもありませんが、子どもたちに正しく手洗いをさせたり、消毒を繰り返したりという実行性の問題を考えると、あらゆる補完措置を取っておく必要があります。

また、消毒液等の化学物質を不用意に継続使用することで、アレルギーの発症や、菌やウイルスが耐性を持ち、より恐ろしい感染症を引き起こす可能性も示唆されています。さらに、保育園では、子どもたちだけでなく常に消毒剤に触れる保育士や教諭の肌荒れなども問題視されています。

このような背景から、本年はめじろ保育園様と第二小羊チャイルドセンター様にご協力いただき、子どもたちが直接菌やウイルスに触れる機会が多い環境表面に銅を設置し、設置前後の銅の殺菌力について検証する実験プロジェクトを実施してまいりました。人にやさしい自然の銅(\*1)のもつ殺菌力が有効活用され、菌やウイルス感染を防ぐことが大いに期待されます。

日本銅センターは、今後も引き続き、感染症など安心・安全の問題を解決する一手段としての銅の普及促進及び銅に対する正しい理解増進を図ってまいります。

### ■ 保育園にて銅を設置した設備

- ・ 社会福祉法人 めじろ会 めじろ保育園様 (東京都八王子市山田町1888-6)  
調乳台、配膳台、配膳車、手洗い場(蛇口含む)、ドアハンドル、プッシュプレート
- ・ 社会福祉法人 こひつじ会 第二小羊チャイルドセンター様 (東京都三鷹市北野3-1-3)  
階段手すり、調理台、ドアハンドル

\*1:銅は健康に欠かせない栄養素であり、またほとんど毒性のない金属です。  
詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。<http://www.jcda.or.jp/kurashi/kurashi.html>

＜本件に関する問い合わせ先＞  
社団法人日本銅センター  
子どもを守る安全・安心プロジェクト事務局  
(パーソン・マーステラ内 担当:土井、増田)  
TEL:03-3264-6701 / FAX:03-3237-1244



■ 参考資料

第二小羊チャイルドセンター様  
黄銅製の階段手すり



めじろ保育園様  
手洗い場に黄銅板を設置



【社団法人日本銅センターについて】

社団法人日本銅センターは、銅のすぐれた特性や機能を多くの方に知っていただくこと、銅に関する疑問・質問にお答えすることを目的に設立された機関です。日本鋳業協会、一般社団法人日本伸銅協会、社団法人日本電線工業会、国際銅協会(ICA)の4団体を正会員に、多くの賛助会員のご協力のもと、銅の需要開発・促進に力を注いでいます。日本銅センターでは、銅に関するさまざまな調査・研究・技術開発を行っています。また、各種出版物の発行など、幅広い広報活動を展開しています。 <http://www.jcda.or.jp/>

【銅の殺菌力について】

銅については、歴史的に銅そのものに殺菌力があることが実証されております。近年、日本でも集団感染を引き起こし問題になったクリプトスポリジウム、病原性大腸菌O-157やレジオネラ菌、さらには鳥インフルエンザウイルス等について、銅の高い殺菌効果が実証されています。2008年2月には、米国の環境保護庁(EPA)が、銅および銅合金にはMRSAをはじめとする各種病原体に対し殺菌力があることを確認、製品効果としての殺菌効果の表示許可を金属素材に対し初めて与えました。日本銅センターでは、こうした銅のすぐれた特性や機能を多くの方に知っていただくとともに、今後も引き続き調査・研究・技術開発を行ってまいります。また右の「Cu+」マークは、銅の殺菌力を表しています。

